

阿井地区

【七月二十三日・阿井コミュニティセンター】

問1 少子高齢化が進む中で地域の活性化を推進するためには、定住対策の強化が最も重要であると思います。特に雇用の場確保による若者の定住化と子育て環境の整備はセットで推進していくことが求められます。

町が目指すべき将来像のために私たち町民が一致して取り組む事項について、長期的な視点も踏まえながら具体的なプラン等ありましたらお示し下さい。

答1 子どもは地域の宝であり、町としても子育て環境の整備は重要施策と位置づけています。

また、保育、子育て支援に関する業務を4月から教育委員会と一体化して行うよう組織替えをいたしました。「奥出雲町次世代育成支援後期行動計画」では、親になるための学習機会の充実や縁結び事業の推進など、若者の定住を子育て支援策にも取り入れています。（子育て支援室）雇用の場の確保につきま



阿井地区会場

三沢地区

【七月二十一日・三沢公民館】

問1 要害山登山口の古民家（旧景山宅）活用事業について三沢地区では、地域の観光資源の中心となるのは要害山であり、その登山口の古民家（旧景山宅）の活用であります。このことは、町でも現地視察をしたり、活用策についても一緒に話し合いを重ね、その事業費が六月補正予算に計上される運びと理解しております。しかし、六月補正に計上されていないとの事であり、次点について質問させていただきます。

町では、この古民家活用事業について、どのようにお考えなのか。

事業費が六月補正で予算化されなかった理由をご説明下さい。

答1 最近増加する来訪者との交流など、地域間交流活動へと広がりをみせる中、活動拠点がなく、支障をきたしている現状から、要害山入口付近の古民家を活用した本計画については、重要であると考えております。（地域振興課）



登山口にある旧景山宅

財源として過疎債を予定していますが、県との正式ヒアリングが秋に予定されているためです。よって、九月補正予算で対応する予定です。（地域振興課）

問2 鴨倉農道下鞍掛上鴨倉の峠付近を中心に防犯灯の設置が非常に遅れており、通学に大変危険を伴うので防犯灯を設置して頂きたい。ふるさとづくり交付金の中に補助の制度がありますが、これでは間に合いません。

答2 現在、小学校通学路を中心に調査を行っており、その結果を基に「緊急防犯灯整備」事業を導入する方向で検討します。（総務課）

佐白地区

答3 佐白地区交流拠点施設は、尾原ダム建設に伴う周辺整備計画のひとつです。

拠点施設の整備にあたり、昨年末より地元の皆様とワークショップ方式で準備を進めています。食事や農産加工、入浴等の機能を持った施設を検討しており、隣接する奥出雲多根自然博物館等と連携しながら地域の特徴を生かした施設とすることで、町全体の魅力づけになるように考えています。（地域振興課）

地元で設立準備が進められているNPO法人で運営される予定であり、施設整備と併せて現在検討中です。（地域振興課）

整備にあたり、地元の皆様とワークショップ方式で進めています。佐白地区活性化協議会でそれぞれ説明会を開催しています。（地域振興課）



佐白地区交流拠点施設のボーリング工事

鳥上地区

【八月七日・鳥上コミュニティセンター】

問1 観光行政の充実 斐乃上荘の充実とPRについて

斐乃上荘のPRを充実すれば「日本三大美肌の湯」に選ばれた有名な温泉を活かすことができるのではないかと、ト蔵家の歴史文化的価値を見出し、数多くの野ダラ、カンナなど鉄山史を明らかにするとともに、観光価値はないか調査研究をお願いしたい。

答1 この温泉をさらに活性化するため、アクセス道路の改良、屋根の修繕、客室へのインターネット回線敷設、携帯電話のエリア開設など環境整備を進めています。運営は、船通山や地元有志他のタイアップによる商品の企画、精進料理の開発など指定管理者において新たな取り組みを実施されています。PRにつきましては、指定管理者でホームページを開設されたほか、観光協会では観光パンフレットで紹介するなどしています。（地域振興課）



鳥上地区会場

たたら製鉄文化所産に関連する景観区域について、国の指定となる重要な景観の認定に向け、本年度全町の事前調査を始めています。当然製鉄文化を色濃く残すト蔵家原たたら山内周辺も重要区域の一つとして認識しています。当該保存調査において、全町的に製鉄文化の景観について調査研究することが、新しい観光資源の開拓及び現在の文化的価値をさらに高めると考えます。（生涯学習課）

問2 鳥上診療所の医師の確保について

休診状態にある診療所に医師を確保していただきたい。来院者が少ない事も事実であるので多くの者が来院でき



再開が待たれる鳥上診療所

るよう電子カルテ等の導入によって、どこかの病院・医院とカルテ等の共有化及び電子回線をつなぐことで、同じ診療機関とし、病状の安定した病人を受け入れる等の柔軟な対応は出来ないでしょうか。

答2 町としてはまず第一に地域の中核病院である奥出雲病院への医師招へいに全力を挙げることが必要であり努力をしているところです。

地域ごとの医療に関しては医師会とも協議をしていますが、交通手段の確保などにより医療機関を受診しやすくなるような方向で検討します。（健康福祉課）

除雪計画の見直しについて

問3 現在の除雪基準及び計画について教えていただきたい。交通弱者にも配慮したきめ細やかな除雪計画を作り、その目的別計画を公表するようにしてほしい。

答3 町道除雪につきましては、概ね十五センチ以上の積雪があったときにバス路線をはじめ、幹線道路の除雪を最優先に行い、集落内の道路などのその他の路線は積雪や降雪の状況により逐次実施しています。

県道の除雪も同様の基準で仁多土木事業所からの指令で作業が行われます。私道につきましては町道除雪では対応しませんが、町や社会福祉協議会が所有する歩道除雪機を無料で貸し出しておりますのでご利用ください。また、高齢者世帯などの除雪対応は、今後、自治会やボランティアグループ等との連携も必要となってくると考えています。（建設課）



三沢地区会場

【七月二十三日・阿井コミュニティセンター】

【七月二十一日・三沢公民館】